

## —スタッフ—

役 職	スタッフ名
部 長	南谷 かおり
外来副看護師長	新垣 智子
保健師	張 鈺豊
国際医療コーディネーター	木村 ガーリー
国際医療コーディネーター	石井 葉子
国際医療コーディネーター	石井 亮
事務員	廣中 司
協力医師 (膠原病内科部長 兼リウマチセンター長)	入交 重雄
協力医師 (総合内科・感染症内科医長)	三島 伸介

## —概要—

国際診療科は、その前身となる国際外来(2006年4月開設)の機能強化を目的として2012年11月にスタートし、医療通訳サービスの提供、院内資料の翻訳、海外の保険会社との対応など、外国人が安心して医療を受けられるよう様々な支援業務を行っている(診療は行っていない)。

業務の中核となる医療通訳サービスは、当院を受診する外国人患者さんに対し英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語の4言語で受付から検査、診察、会計まで付き添い通訳を行うもので、無料で利用できる(提供日時は言語により異なる)。開始以来通訳件数は毎年増加しており、利用者は泉州地域在住の外国人が大半を占めるが、関西国際空港の対岸という立地に加えて近年の訪日観光客の増加に伴い、外国人旅行者の割合が増えつつある。

医療通訳を担当するのは当院に登録している有償ボランティア通訳者である(2014年度末時点で約65名)。経験や語学力に応じて「医療通訳」「メディエーター」「認定外国人サポーター」の3つの区分を設け、新規登録者はまず認定外国人サポーターとして活動し、経験豊富な医療通訳の指導のもと、現場研修(OJT)を通じて医療通訳のいろはを学んでいくシステムとなっている。日本では医療通訳の整備は端緒についたばかりであり、このようなOJT型の取り組みを行っている機関は全国的にも数少ない。今後ますます需要が高まるとされるこの分野において、当院は「現場に根差した」医療通訳者養成という重要な役割を担っていると考える。同時に、多言語を話す医療者のフォローアップのもと、「常駐型」の医療通訳サービスを提供していることも当院の特色の一つである。

また当院は、外国人が安心して医療を受けられる環境整

備充実度の客観的指標となる、外国人患者受入れ医療機関認証制度「JMIP」(バージョン1.0)の認証を国内で初めて受けた3病院の一つであるが、新たに2014年12月には、厚生労働省による「医療機関における外国人患者受入れ環境整備事業」の拠点病院に選定された。地域における国際医療の拠点病院として、また日本における医療通訳制度の推進者として、一層の貢献が期待されている。

当院のこのような取り組みや実績は今や広く知られるところとなり、他の医療機関からの相談や見学依頼なども少なくない。夜間・休日の時間外対応など改善が必要な課題もあるが、次年度はJMIPの更新年度でもあり、さらなる向上を目指していく所存である。

## —実績—

## (1) 2014年度国籍別通訳件数

国籍別通訳件数	
ペルー	205
ブラジル	142
中国	130
フィリピン	116
アメリカ合衆国	57
コロンビア	46
バングラディシュ	22
オーストラリア	12
タイ	12
フランス	11
イギリス	9
インド	8
ニュージーランド	8
カナダ	7
台湾	6
韓国	4
イタリア	3
エジプト	3
ネパール	3
ベトナム	3
アイルランド	2
パキスタン	2
マレーシア	2
イスラエル	1
オランダ	1
スリランカ	1
ドイツ	1
ポーランド	1
ボリビア	1
ルーマニア	1
日本	8
不明・その他	34
計	862

## (2) 2014年度言語別通訳件数

言語別通訳件数	
英語	226
ポルトガル語	140
スペイン語	254
中国語	140
タガログ語	92
その他	10
合計	862

## (3) 2014年度内容別通訳件数

内容別通訳件数	
診察	606
会計	474
検査	298
薬	257
その他	156
説明・相談	134
受付・予約	100
診断書等	54
処置・手術	52
翻訳	12
合計	2,143

※「その他」には電話対応の件数も含まれる。

## (4) 2014年度診療科別通訳件数

診療科目	
内科系	242
小児科	56
外科	15
脳神経外科	4
整形外科	76
形成外科	10
心臓血管外科	8
呼吸器外科	0
歯科・口腔外科	4
泌尿器科	37
産婦人科	230
皮膚科	6
耳鼻咽喉科	59
眼科	44
救急外来	35
国際外来	8
女性外来	0
救命救急センター	12
その他	25
合計	871

## (5) 年度別通訳件数の推移

